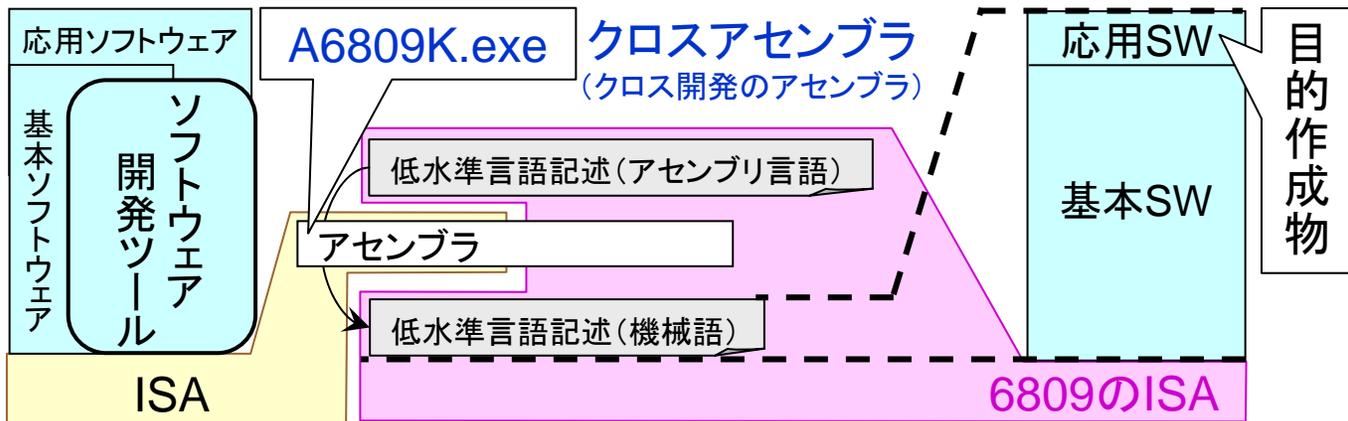


# クロスアセンブラ A6809K.exe の使い方



## 【注1】

.asm  
: アセンブリ言語  
プログラム  
ソースファイル。

(1)コマンド  
プロンプト  
を起動し

```
Z:\>cd CAE 
```

 (2)Change Directory

```
Z:\>CAE>a6809k.exe 
```

 (3)クロスアセンブラ A6809K.exe を実行

```
MC6809 cross assembler start, made by Y. Yoshioka. 2007. 8. 28
```

```
ROM writer format: ASCII/2A (74256 only)
```

```
Please input .asm file name = foo.asm 
```

 (4)アSEMBルしたい  
アセンブリ言語プログラム  
ファイル名を入力

```
**** pass 1 start ****  
**** pass 2 start ****  
** Error count=0 **, end addr=bar  
> Generated "foo.lst" file.  
> Generated "foo.rom" file.  
> Generated "foo.obj" file.  
** Assembler completed.
```

(5)左のように、

✓ Error count=0

✓ .lst/.rom/.obj の3つのファイルを生成

✓ メッセージ「Assembler completed.」が出力  
となれば正常にアSEMBル終了。

それ以外の場合は、エラー等を修正し、再アSEMBルする。

【注2】.obj : 目的作成物。目的コード(実行コード)のファイル。

.lst : アSEMBル結果のリストファイル。(学習のヒント)

.rom : 本演習では用いないので無視する。(わざわざファイル削除する必要はない。)